

一般社団法人グリーンモビリティ社会実装推進コンソーシアムへの参画

2026年6月26日
関西電力株式会社

当社は、一般社団法人グリーンモビリティ社会実装推進コンソーシアム（以下、JGMC）に幹事会員として参画しました。

JGMCは、日本における運輸部門の脱炭素化に貢献する先端技術・ソリューションの社会実装の実現・推進を目的として、2025年5月に設立されました。

運輸部門の脱炭素化に向けては、電化道路システム[※]のインフラ構築、とりわけEVワイヤレス給電を活用した充電サービスの事業化が重要です。

こうした認識のもと、JGMCでは、さまざまな民間事業者や自治体とともに産・官・学の連携による社会実証の推進体制を構築し、EVワイヤレス給電をはじめとする次世代モビリティ技術の社会実装に向けた各種実証実験を実施します。

当社は、JGMCにおける活動を通じて、EVワイヤレス給電の社会実装に取り組むとともに、エネルギーとソリューションサービスを一体的に提供することで、2050年のゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※：電化道路システム（ERS：Electric Road Systems）。走行しながら電気自動車（EV）を充電できる仕組みを備えた道路。ERSは、給電方法（接触型／非接触型）、給電システムの設置場所（道路上空／道路上・側面／道路埋没）によって分類される。

以上

別紙1：JGMCの概要

別紙2：関西電力グループが描くEVワイヤレス給電の未来

J GMCの概要

名 称	一般社団法人グリーンモビリティ社会実装推進コンソーシアム 略称：J GMC (Japan Green Mobility Promotion Consortium)
設立年月	2025年5月
所在地	東京都港区西新橋1丁目2番9号日比谷セントラルビル14階
活動内容	(1) 電化道路システムの技術検証と評価、電化道路システム利用者両側対応性の評価と検証 (2) 産官学連携での公道フィールド実証実験 (3) 社会実装モデルの策定と社会的・経済的インパクトの試算、調査研究 (4) その他、本コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動
代表理事	木下 剛
幹事会員	Electreon Wireless合同会社 株式会社大林組 関西電力株式会社 KPMGコンサルティング株式会社 株式会社デンソー

関西電力グループが描くEVワイヤレス給電の未来

2026年6月26日

関西電力株式会社

充電を、もっと自由に。移動を、もっと持続可能に。

【EVワイヤレス給電が拓く、新しい社会インフラ】

EVワイヤレス給電は、ケーブルを接続せずにEVへ電気を届ける技術です。EVバス・タクシーやEVトラックなどのモビリティが、停車中に加えて、走行中に移動の動線上で給電することで、車両の運行、充電のタイミング、電力需要、再生可能エネルギーの活用などを全体で最適化できます。EVワイヤレス給電は、モビリティの電化を支える新しい社会インフラとなります。

【関西電力グループがEVワイヤレス給電に取り組む意義】

関西電力グループは、これまでもEVの新たな充電・給電のあり方を追求し、未来の移動を支える仕組みづくりに取り組んでまいりました。2025年大阪・関西万博では、走行中ワイヤレス給電を含むEVバスの運行管理と充電を最適化するエネルギーマネジメントシステムを開発しました。電力の安定供給とエネルギーマネジメントで培った知見を活かし、運行と給電を一体で設計することで、運輸部門の脱炭素化、地域交通の利便性向上、電力需給の安定化に貢献してまいります。

【社会実装に向けて】

EVワイヤレス給電がもたらす新しい社会インフラの未来を描き、「ゼロカーボンで」「便利で」「安心して暮らせる未来」の実現に貢献してまいります。関西電力グループは、電力の安定供給を通じて社会を支えてきた企業グループとして、これからもエネルギーの新たな可能性を追求し、持続可能なスマートモビリティ社会の実現に挑戦し続けます。